

さわがせ

号 数 第 3 2 4 号
発行日 令和3年10月24日
発行所 金光教 靱 教会
〒550-0011
大阪市西区阿波座 2-2-10
TEL&FAX 06(6541) 6313
mail : kagiyama2001@ybb.ne.jp



秋の合同墓前祭が瓜破霊園にて行われ、参拝された方々(9月26日)

今も御取次下さる金光様

生神金光大神大祭をお迎えさせていただき、共々におめでとうございます。
この祭典は教祖金光大神様が、常に神仏を敬い、農業に専念されていましたが、種々の難儀に出会われる中でも、ただ実意丁寧真一心の信心を貫かれ、親神様との間にあいよかけよの働き合いが生まれ、神も人も助かる道が出現されたのです。安政6年10月、神様のご指示のままに農業を辞め、お取次のご用に専念されることになりました。そして多くの人々が取次を受けて助けられ、この道は各地に広められ、明治6年4月、天地書附が定まり、更に10月御神伝があり、いよいよ金光様の道が広まり、明治16年10月10日70歳にて現世の御取次は終わられ、その後は来てくれというところに来て守って下さるご用に立たれたのです。そのお働きにお礼を申し上げさせていただきお祭りです。



わが才能を生かしてこそ

教会長 鍵山公生

生まれる時の証文

「人間は、生まれる時に証文を書いてきているようなものである。生まれたといったら、その時に悔やみを言いに行ってもよい。それくらいのものである。どういう災難があるとか、こういう不幸せがあるということは、決まっているのである。神様はよくご承知なのである。」（津川治雄の伝え）

このみ教えは、生まれるときからどんな災難が起こると決まっているということですが、それならば反対に、私たちにありがたいことや、幸せなことが起こるといことも決まっているのではないかと思うのです。

「信心は話を聞くだけでは十分ではない。わが心からも練りだすがよい」と仰せですから、そのように自分ながら考えてみました。

そうとすれば、生まれる前から、一人一人にいろいろな素晴らしい才能を分け与えて下さっているとも考えられます。

生まれながらに音感の優れた人、手先の器用な人、言葉巧みな人、知恵才覚の優れた人、芸能に優れている人、体力に優れている人、そして見目麗しく生まれた人など、あらゆる能力を与えられているのです。これは両親や先祖からのD、N、Aとも関係しますが、同じ両親から生まれてきても個々に性格も才能も違ってきます。これも生まれたときからの神様との約束と言えるのではないのでしょうか。



幼少の時には気づかなくても成長する過程で、自分に与えられた才能や能力に気づき、それに自分の努力を重ねていけば成功することができます。

さてその自分の能力をどのように生かすかが問題ですが、そこにとても大切なポイントがあります。

何のために働くのか

そこで私たちは何のためにこの世に生まれ、神様から分け霊を頂いてきたのかを考えますと、金光様の道では「人が人を助けるのが人間である。・・・人間は万物の霊長である。・・・人を助けることができるのはありがたいことではないか。」（山本定次郎の伝え）と教えられています。

私たちは何のために働くのでしょうか。その基本は自分や家族の生活を支え、安定した生活をするためでしょう。それにはより多くの収入を得たいと考え、企

業に就職したり、医者や看護師、保育士、または自分で商売を初めたり、会社経営するなど、自分に合った仕事を探すことになります。

また働くというのは、端^{はた}を楽にすることって、自分以外の人を楽にすることだとも言われています。金光教祖様は、「世のため、人のため、わが身のためを思って、家業をありがたく勤めることが出来れば、それがおかげである。それが神の心にかなうのである」。と仰せになっておられます。

昔から「人間は万物の霊長」と言われ、人間は動物の中でも魂が一番優れているということですが、そう考えると自分のことだけではなく、周りの人や環境などを良くしようと努力してこそ人間としての価値があると思います。

折角この世に命をいただいたのなら、ただ自分のことのみ生きるのではなく、人を助けるために、この世の為になるようお役に立ちたいと、自分の命をどこまでも燃え尽くすまで働かせていただくというのが、神様からいただいた命に対しての生き方ではないかと考えるのです。

家業は信心の行

「神様のおかげで生きておれる人間は、日々神様のご用を勤めねばならぬぞ。毎日勤める家業は信心の行であるから、業をありがとう勤めれば日々ありがたいおかげがうけられるぞ」（尋求教語録 28）

私たちは生まれるときには食料も衣類の一枚も持たず、生まれてきました。そして母乳を始め、天地の恵みによって作られた食物をいただき、衣服を身にまとい、雨露をしのがせていただいて来ました。そして親の愛情を身いっぱい受け、その中で学問を身に付けつつ成長してきました。成人してから今度は今まで与えられてきた能力や体力などを発揮して、働くことになるのです。そこからが問題なのです。

私たちは自分の力で生まれ育ったのではなく、天地のお恵みは言うまでもなく、多数の人たちのお世話になって成長してきたのです。

朝起きてから夜休むまでに30万人もの人のお世話になっていると言われます。それは顔を洗う水や石けん、それを拭うタオル。そして食事に至っては、お米だけでも88人の人の世話になっているから米という字は八十八と書くのだと言われています。そ

の他食物一切、身に付ける服、などなど数え上げれば数限りありません。そのお世話になってきたことへのご恩返しさせていただくことが働くことの意味合いの第一番です。



働くとは

昔から「働かざる者は食うべからず」と言われ、生きていくためには当然働かなければなりません。しかし怠け者は自ら働こうとせず、人を利用したり、親や周りの人にぶら下がりて生きようとする者もあります。それは神様からご覧になれば不要な人と思われるかもしれません。

生まれながら高度の才能を持った者が、その知恵を駆使して楽な生活をする者もあります。それもその人の持ち味といえるのでしょうか。しかしその能力のない者にとってはそれができず、体を粉にして働かなければなりません。

昔、次のような話がありました。

ある母子が道を通るとき、ツルハシを振り上げ、汗水垂らしながら道路を掘削し、配管工事をしている人を見て母親が、「あんたもしっかり勉強せんとあんなしんどいことせんといかんようになるよ。」と子供に言うて聞かすのでした。子供の将来を思って叱咤激励する気持ちでしょうが、昔から体力仕事をする者は程度の低い者、頭で人を使うのは高度な人間のすることと考えられてきたところがあります。しかしそのような人を見下したような教育をしてはならないのです。工事をしてくれる人がいなければ自分の家の上水道も下水道も引いてもらえないということを知らねばなりません。

老後の生活

歳が寄って、もう何年生きられるか。体は弱ってきたら子供たちに苦勞させないように気楽な老人施設に入ろうか。それにはいくらの費用がかかるかなどと換算して、貯蓄をしてきた人もあるでしょう。聞くところによると十分な介護をしてくれる施設となると、その費用はとてつもなく高額です。それをまかなえる貯蓄があるならば結構ですが、なかなか難しいものです。

施設に入所するより、命が終わるまで健康で居たいと考え、サプリメントなどあれこれ飲み、食事に気を付け、健康保持のための散歩や体操をしたりと頑張っておられる方もおられます。金光様は、「死ぬる用意をするな、生きる用意をせよ。死んだら土になるのみ」と仰せになっておられ、これからもなお元気に世のお役に立たせていただくという気心が大切です。生まれるときの証文があっても、真の信心の徳を積んでいけば、より一層の幸せをいただけること間違いなしです。

神様から与えていただいた能力や才能は、自分の利益のためだけでなく、世の人を助けるために役立てたい。新型コロナウイルス感染症のワクチンや飲み薬でも、終息するために研究することも、神様から与えられたご用であると心得て取り組まれてこそ、分けみたまをいただいている人間の価値でしょう。

神計らいによる日参

信徒総代 渡辺 秀孝



私は子供の頃大阪市生野区に住んでいて、高校生の頃に東大阪市に転宅し、家族で住んでいました。そして私が結婚して夫婦で藤井寺市に居を構えました。

私が38歳の頃に母親が亡くなり、父は私の弟と二人の生活になりました。父も歳が寄って来たので同居しようと思ったのですが、その頃の家は狭くてできませんでした。

韃布教80年の年に、教会の広前がご造営されることになりました。私もこのときに父と一緒に住める家のおかげをいただきたくと神様にお願いしておりましたところ、その年の12月に良い家が見つかり引っ越しができ、父と同居することができるようになりました。

父は教会の朝5時半のご祈念にお参りをし、教会で何かとご用をさせていただき、夕方5時頃に帰宅していました。そこで私も日参をしたいという思いはありましたが、教会まで1時間もかかり、会社の方向も違いできませんでした。

父はよく貧血を起こし、お参りの途中のバスに乗るため慌てて走って貧血を起こして倒れ、救急車で運ばれ、病院へ迎えに行くことが何回かありました。またある時参拝途中で電車の駅でも貧血で倒れ、その時医者から「年寄り一人では外出は無理」と言われ、それから毎日私が車で教会への送迎をすることになりました。それが1年半続きましたが、そのおかげで私が教会へ日参することができるようになりました。

その後父は歩けなくなり、自宅で過ごすようになりましたが、父の夜中のトイレの世話などで、私は寝不足になり、左目が網膜剥離を起こし入院しました。その入院中に父が亡くなりました。私の左目は失明しましたが、おかげで何不自由なく生活させていただいています。

父が毎日教会で私たち家族、親族のことをお願いしていましたので、私も教会へ日参をしたいと思っていましたが、その頃はなかなかできませんでした。

会社では設計の仕事をしていましたが、片目での作業では目が疲れるので、55歳で早期退職しました。それから新しい仕事を探していたら、旅行土産の会社で、プログラムと事務の仕事が見つかりました。しかし一日中パソコンと向き合うのが難しく、午後の半日勤務にして頂きました。会社は自宅と教会の間にありましたので、教会の10時のご祈念に参拝し、その後出勤することになったので、そこから教会日

参ができる事になりました。

その会社には19年間勤めましたが、新型コロナの影響で会社が経営できなくなりましたが、今も10時の御祈念は続けています。

思えば父が倒れ、車で日参し、新しい会社では午後の出勤になって、平日はお参りができました。神計らいにより30年近く日参させて頂くことができました。有り難いことです。おかげで子供も孫も元気にさせていただいております。

息子は神奈川県に住まいし、10年近く前に1型糖尿病になり、今もインスリン注射を続けていますが、日常には差し障りなくさせていただいております。

仕事はプログラマーで、現在は小野薬品のホームページを作っているようです。

娘は20歳の時にスキーに行く途中、車が横転して道路脇に投げ出され、頭を打って意識不明の重体となりましたが、後遺症もなく、今は私の家の近くに住んでいて、毎日孫が夕飯を食べに来ております。職場も、国分、長居、豊中、淀屋橋とだんだん教会に引き寄せられるように近づき、今年の6月から教会に徒歩5分ほどの、建設会社に勤めています。

父の祈りと日参により、家族皆おかげを頂いております。有り難いことです。

今日は、私の日参のお話をさせていただきました。有り難うございました。

(9月23日秋季霊祭時、信徒体験発表)

月例霊祭日に、祥月命日の御霊様もお呼び出しして
ご慰霊させていただきます。

ご都合お繰り合わせをいただかれ、ご参拝下さい。
(11月24日、12月24日ともに午後2時より)



10月24日(日) 午前10時30分より

生神金光大神大祭奉行

祭典後の教話

講師：金光教四條躰教会長 大倉 真道先生

講題：「願う氏子におかげを授ける」

令和3年11月



- | | | |
|--------|----------------|----------|
| 1日(月) | 月例祭執行 | 午後2時 |
| 7日(日) | うりわり墓参 | 午前7時 |
| 10日(水) | 大阪教会大祭 | 午後2時 |
| 14日(日) | 月例祭執行 | 午前10時30分 |
| 15日(月) | 立教記念祭並びに教主就退任式 | |
| | 御本部参拝 | 午前6時出発 |
| 19日(金) | 信徒共励会 | 午前10時 |
| 23日(祝) | 堺大浜教会生神金光大神大祭 | |
| | | 午後2時 |
| 24日(水) | 月例霊祭執行 | 午後2時 |

12月

- | | | |
|--------|---------------------------|----------|
| 1日(水) | 月例祭並びに
初代教会長例年祭(78年)執行 | 午後2時 |
| 5日(日) | うりわり墓参 | 午前7時 |
| 11日(土) | 月例祭執行 | 午前10時30分 |
| 12日(日) | 布教功労者報徳祭 | ご本部参拝 |
| 17日(金) | 信徒共励会 | 午前10時 |
| 24日(金) | 月例霊祭執行 | 午後2時 |
| | 祭典後教話、大阪府連盟布教部講師 | |
| 30日(木) | 越年祭、大祓式(ひとかた行事) | 午前10時30分 |



令和4年1月

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1日(祝) | 元旦祭執行 | 午前10時30分 |
|-------|-------|----------|

韃教会のホームページが、リニューアルされました。
また、さわかぜも、韃教会ホームページからお読みいただけます。

<https://utubo.konko.info>